

法人の執行状況

平成26年度4月より、障害者総合支援法施行から一年が経過したことを機に、新たに、障害支援区分への名称・定義の改正、重度訪問介護の対象拡大、グループホームへの一元化等々の実施がなされました。法人内においても、それらの流れに則り、順次、対応してまいりました。

平成26年度は、前年度に引き続き、設備投資に力を入れた一年でありました。主な工事としては、木工室・竹工室の耐震補強工事、グループホーム5箇所のスプリンクラー設置工事、わかたけ荘改修工事、保育園の門扉改修工事を行いました。また、主な購入物品等としては、ゆうかり学園にてスチームコンベクションオープン等の厨房用備品を購入し、今後計画しています地域生活支援拠点事業のために、鹿児島市草牟田の土地を購入させていただきました。

また、前年度よりスタートした、サービス等利用計画・児童支援利用計画作成についても、法人内外の障害児・者を対象に、相談支援専門員5人体制にて計画作成、モニタリングを行なっています。加えて、「鹿児島市障害者基幹相談支援センター」の運営委託も2年経過し、地域におけます相談支援体制の充実を目指し、法人として全面的にバックアップしているところです。

昨年7月には、鹿児島市指導監査が、ゆうかり学園、ゆうかり保育園を対象に行なわれました。様々な指摘事項（文書指摘5件、口頭指摘10件）を受け、直ちに改善しています。今後ますますの努力を重ねていきます。

理事会・評議員会では、職場状況の改善や、事業費の推移に対応した予算の検討等を中心に審議していただきました。主な規則、規程の追加・変更としては、5月に居宅介護事業運営規程より、相談支援機能を分離した相談支援事業運営規程の追加、11月に就業規則の変更（特別休暇項目の追加）、慶弔規程の改正を行い、3月に定款変更（収益事業の追加等）、非正規職員就業規則の変更（通勤手当の導入）について審議していただきました。

最後に、自立訓練、児童発達支援事業の休止等、法人内において事業再編しているところであります。また、ゆうかり学園開設50周年も後2年となりました。今後も、利用者のさらなる笑顔を増やすことを目指して、法人内の職員が思いを共有し、責任を持って働けるよう、職場環境が充実したものとなるよう、事業運営していく所存です。

平成 26 年度 理事会・評議員会開催状況

| | 開催年月日 | 出席者数 (委任状) | 決議事項 | 欠席者 |
|------|-------------------|---------------|---|-----------------------|
| 理事会 | 平成 26 年 5 月 21 日 | 6 名 | <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度本部会計決算(案)について 平成 25 年度社会福祉事業報告 平成 25 年度本部会計その他監事監査報告について 定款の変更、規程の変更について 将来構想計画について | |
| | 平成 26 年 10 月 8 日 | 5 名 | <ul style="list-style-type: none"> 将来構想計画の一環として、土地購入(案)について | 稲本 |
| | 平成 26 年 11 月 18 日 | 5 名 | <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度補正予算について ゆうかり学園耐震診断積立金の取崩及び耐震結果について 就業規則・規程の変更について 平成 26 年度鹿児島市指導監査結果報告について | 稲本 |
| | 平成 27 年 3 月 27 日 | 5 名 (1 名) | <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度補正予算について 平成 27 年度事業計画について 平成 27 年度当初予算案について 役員改選について 定款の変更、就業規則・規程の変更 管理者の定年延長及び変更について | 稲本 |
| 評議員会 | 平成 26 年 5 月 21 日 | 12 名 | <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度本部会計決算(案)について 平成 25 年度社会福祉事業報告 平成 25 年度本部会計その他監事監査報告について 定款の変更、規程の変更について 将来構想計画について | 精松 藤崎 |
| | 平成 26 年 11 月 18 日 | 11 名 | <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度補正予算について ゆうかり学園耐震診断積立金の取崩及び耐震結果について 就業規則・規程の変更について 平成 26 年度鹿児島市指導監査結果報告について | 稲本 海江田 濱寄 |
| | 平成 27 年 3 月 27 日 | 10 名 | <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度補正予算について 平成 27 年度事業計画について 平成 27 年度当初予算案について 役員改選について 定款の変更、就業規則・規程の変更 管理者の定年延長及び変更について | 水流洋 精松 稲本 長濱 |

平成 26 年度 ゆうかり学園 事業報告

1. 事業内容

| 事業 | 定員(名) | 現員数(名) |
|------------|-------|--------|
| 施設入所支援 | 60 | 60 |
| 生活介護 | 75 | 73 |
| 自立訓練(生活訓練) | 10 | 6 |
| 就労移行支援 | 10 | 8 |
| 就労継続支援 A 型 | 10 | 6 |
| 就労継続支援 B 型 | 45 | 38 |

※平成 27 年 4 月 1 日時点

2. 事業報告

1) 施設入所支援

期首 60 名でスタートしたが、認知症の進行により 6 月に 1 名退所して期末 59 名となった。他にも高度アルツハイマー・徐脈・後縦靭帯の骨化(感覚障害・運動障害を伴う)を併発し、転倒により重度の脊髄損傷となる可能性を指摘されている利用者が居て、一瞬も目が離せない状態が続いている。現状は職員間の連携により何とか支援を継続しているが、他の利用者への支援内容も増えつつあることを考えると早期に対策が必要である。

また、認知症により夜間見守りが必要な利用者が増え、今後人員配置などの検討が急務である。

2) 生活介護

期首 73 名でスタートし、上記理由により期末 72 名となった。支援の内容を見ると、認知症の進行や高齢化による介護や、他事業利用者も含めて入院等が増え、静養時の支援等、業務内容が格段に増えつつある。職員が時間差で勤務するなど工夫しているものの職員の絶対数が足りず、今後活動の在り方等も含めて検討が必要な状況である。

3) 自立訓練(生活訓練)

定員 10 名に対して現員数 6 名で、年間の増減は見られなかった。1 名は 3 月より長期入院している。

4) 就労移行支援

期首 8 名でスタートしたが、就職先の倒産により 1 名追加して期末 9 名となった。職場開拓も思うように進まず、また、就職してからも定着出来ない現状を分析し、今後の課題を明確にして就労に結び付ける支援を行う必要がある。

5) 就労継続支援 A 型

期首 6 名でスタートしたが、1 名病気のため亡くなり期末 5 名となった。

6) 就労継続支援 B 型

期首 38 名でスタートしたが、実習が困難となり 1 名追加して期末 39 名となった。この事業においては、支援区分の見直しが必要と思われる利用者が複数名居て、おそらく今後は生活介護の利用が想定される。

平成 26 年度 グループホームゆうかり 事業報告

1. 事業内容

| 名称 | 定員(名) | 現員数(名) | 名称 | 定員(名) | 現員数(名) |
|---------|-------|--------|--------|-------|--------|
| さくら荘 | 5 | 5 | きんもくせい | 6 | 6 |
| わかたけ荘 | 4 | 4 | すずらん荘 | 8 | 8 |
| びおら | 4 | 3 | あじさい | 5 | 5 |
| 第2わかたけ荘 | 6 | 5 | コスモス | 5 | 5 |
| ひまわり | 4 | 4 | さざんか | 6 | 5 |
| わかば | 4 | 4 | あおい | 5 | 4 |
| まるおか | 4 | 4 | | | |

※平成 27 年 4 月 1 日時点

2. 事業報告

1) スプリンクラー工事

わかたけ荘・第2わかたけ荘・ひまわり・すずらん・さざんか…5月完了

2) わかたけ荘外装修繕工事

壁塗装・破風・雨戸・雨樋・屋根補修・断熱処理など

3) 消防設備保守点検

今後年に1回実施

4) びおら

1名、3月にたらちね学園より入居となる。3月に養護学校を卒業し、4月より南国殖産に就職。ホームシックになったり、周りに話し相手が居ないと訴えることがあり、職員が話し相手になり見守っている状況。今後要検討。

5) ひまわり

期首4名でスタートしたが、長期入院中であった1名が病気のため亡くなり期末3名となった。

6) きんもくせい

2名学園で静養中。1名は8月から入退院を繰り返し、入浴・食事などの日常生活も困難になってきたため学園で生活して貰い支援を行っている。もう1名は12月より認知症の進行に加え、徐脈が併発したため学園で静養して見守りを行っている。今後、グループホームで見守る体制を構築するのか、施設入所支援に移行するのか要検討。

7) すずらん荘

期首8名でスタートしたが、1名途中入院となり、病気のため亡くなり期末7名となった。

また、養護学校を卒業して2年目となる利用者に関して部屋の片付けなど生活習慣が身に付いていない面が伺える。職員とのコミュニケーションは上手く取れており、職員と一緒にあれば声掛けで行うことが出来ている。職員に構って欲しいと思われる言動も多く、今後の支援方法を要検討。

8) さざんか

期首5名でスタートしたが、長期入院中であった1名が病気のため亡くなり期末4名となった。

また、休日学園での食事を拒否する利用者が数名居るため、今後要検討。

平成 26 年度 全体行事報告

1. 4月13日(日) ふれあいバザー
 - 1) 雨天のためか来客者数 756 名(昨年比-144 名)
 - 2) 正面入口で配布したタオルが好評→来年度は先着順に粗品の配布を検討
 - 3) 来客者と利用者に対しての言葉使いと態度を改める

【まとめ】

問題点は次回に向けて改善を検討する。また、バザー参加が困難な方の過ごし方や食事、職員の支援体制も含めて改善の必要あり。

2. 8月9日(土) ふれあい夏祭り
～台風第 11 号のため中止～
3. 10月26日(日) 妙円寺詣り
10時に Chest 館を出発するが、途中雨のため中断。昼食は学園で弁当
 - 1) 一般者用の救護車と間違われる→救護車に『ゆうかり学園』と明記
 - 2) スタートして 50 分で 7 名救護車へ→中断しなければかなりの数に
 - 3) 歩行スピードを遅い利用者に合わせて→徳重神社まで 3 時間程掛かるペース
2 年前は 2 時間程度、年々到着時刻が遅くなっている。

【まとめ】

年々、利用者間の歩行スピード差が大きくなっており、歩行が困難な方に対する支援方法を要検討。また、高齢者の参加希望もあるため、前記を踏まえ交通手段を含めた参加方法等について内容を見直す必要あり。

4. 11月3日(月) おはら祭り見学
学園バスを利用して、職員 12 名で利用者 40 名を引率。
 - 1) 職員 1 人で 4 名の引率→人混みではぐれてしまう(見失うことあり)
個々の要求に応えられない
 - 2) 出店で購入しても座って食べる場所がない→準備された場所は既に埋まっている
 - 3) 出欠希望が反映されていない→嫌々参加、参加したいのに職員の都合で却下など

【まとめ】

おはら祭り見学では、今のところ大きな事故には繋がっていないが利用者とはぐれる場面が多く見られる。職員 1 人あたりの引率人数を減らし、祭りそのものを楽しめる方が参加できるような行事としたい。

5. 11月9日(日) わくわく福祉交流フェア
学園バスや公共バスを利用して、職員 26 名で利用者 88 名を引率。当日は職員太鼓演奏・販売あり。
 - 1) 職員 1 人で 4 名の引率→人混みではぐれてしまう(見失うことあり)
個々の要求に応えられない
 - 2) 公共バス利用者は、人混み・トイレ等の問題で帰園時間が遅くなる
 - 3) 太鼓出演者の引率利用者を、演奏時は見学者引率職員で見守りを行うが、人混みでのトイレ誘導など大勢の利用者支援は困難。

【まとめ】

人混みの中で、少ない職員で大勢の利用者支援は困難である。また、わくわく福祉交流フェアには参加せず、天文館へ買い物に行きたがる方が多いことを考えると、買い物等、少人数単位でのプログラムを検討したほうが良いのではないかと。行事の参加としては見直す必要あり。

平成 26 年度 サービスセンター・相談支援事業所『くればす』事業報告

1. ホームヘルプサービス

鹿児島市在住の障害児（者）の在宅生活の支援を目的に居宅介護（身体介護・通院等介助）、重度訪問介護、行動援護、移動支援、同行援護を実施してきた。

なお、詳細については下記の通りである。

| 月 | 総件数 | 総利用時間 | 移動支援 | | 行動援護 | | 同行援護 | | 身体介護 | | 重度訪問介護 通院等介助 | | 送迎 | |
|----|--------|---------|-------|---------|-------|---------|------|--------|-------|--------|-----------------|-------|--------|--------|
| | | | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 | 件数 | 時間 |
| 4 | 125.0 | 439:55 | 46.0 | 103:35 | 66.0 | 257:15 | 7.0 | 20:30 | 15.0 | 25:50 | 0.0 | 0:00 | 98.0 | 32:45 |
| 5 | 123.0 | 365:10 | 42.0 | 86:45 | 72.0 | 217:15 | 4.0 | 17:50 | 8.0 | 13:00 | 0.0 | 0:00 | 94.0 | 30:20 |
| 6 | 120.0 | 362:45 | 43.0 | 88:45 | 62.0 | 197:00 | 8.0 | 21:45 | 11.0 | 21:00 | 0.0 | 0:00 | 99.0 | 34:15 |
| 7 | 137.0 | 447:55 | 51.0 | 109:10 | 70.0 | 235:05 | 10.0 | 36:20 | 12.0 | 26:00 | 0.0 | 0:00 | 113.0 | 41:20 |
| 8 | 105.0 | 392:15 | 37.0 | 104:50 | 48.0 | 179:30 | 11.0 | 38:30 | 11.0 | 32:00 | 0.0 | 0:00 | 90.0 | 37:25 |
| 9 | 122.0 | 372:15 | 44.0 | 92:45 | 68.0 | 209:20 | 4.0 | 15:35 | 9.0 | 16:00 | 1.0 | 6:00 | 102.0 | 32:35 |
| 10 | 121.0 | 375:45 | 44.0 | 89:45 | 65.0 | 210:20 | 3.0 | 13:55 | 14.0 | 26:30 | 0.0 | 0:00 | 106.0 | 35:15 |
| 11 | 126.0 | 384:15 | 47.0 | 94:35 | 71.0 | 216:00 | 5.0 | 26:30 | 8.0 | 13:15 | 0.0 | 0:00 | 102.0 | 33:55 |
| 12 | 122.0 | 355:25 | 37.0 | 86:45 | 61.0 | 195:50 | 4.0 | 17:45 | 9.0 | 23:10 | 3.0 | 1:30 | 89.0 | 30:25 |
| 1 | 98.0 | 308:10 | 34.0 | 72:15 | 54.0 | 176:30 | 4.0 | 20:30 | 4.0 | 8:30 | 4.0 | 1:50 | 86.0 | 28:35 |
| 2 | 108.0 | 331:45 | 34.0 | 79:00 | 62.0 | 189:05 | 9.0 | 31:50 | 2.0 | 1:00 | 4.0 | 2:00 | 92.0 | 28:50 |
| 3 | 110.0 | 359:50 | 34.0 | 87:40 | 65.0 | 211:00 | 3.0 | 14:15 | 7.0 | 10:00 | 6.0 | 5:50 | 89.0 | 31:05 |
| 合計 | 1417.0 | 4495:25 | 493.0 | 1095:50 | 764.0 | 2494:10 | 72.0 | 275:15 | 110.0 | 216:15 | 18.0 | 17:10 | 1160.0 | 396:45 |
| 平均 | 118.1 | 374:37 | 41.1 | 91:19 | 63.7 | 207:50 | 6.0 | 22:56 | 9.2 | 18:01 | 1.5 | 1:25 | 96.7 | 33:03 |

※ 利用件数の平均値は、少数点第2位以下切り捨て

指定特定相談支援・児童相談支援 実績集計

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

| | | H26.4 | H26.5 | H26.6 | H26.7 | H26.8 | H26.9 | H26.10 | H26.11 | H26.12 | H27.1 | H27.2 | H27.3 | 件数 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-----|
| 全体 | サ等計画 | 20 | 13 | 11 | 17 | 15 | 19 | 4 | 5 | 6 | 8 | 7 | 11 | 136 |
| | サ計・モニ | 21 | 22 | 36 | 18 | 21 | 21 | 16 | 18 | 37 | 22 | 28 | 28 | 288 |
| | 児支計画 | 8 | 2 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 | 7 | 4 | 1 | 1 | 5 | 38 |
| | 児計・モニ | 6 | 9 | 7 | 6 | 9 | 9 | 6 | 5 | 4 | 3 | 9 | 10 | 83 |
| | | | | | | | | | | | | | 全総件数 | 545 |
| | | H26.4 | H26.5 | H26.6 | H26.7 | H26.8 | H26.9 | H26.10 | H26.11 | H26.12 | H27.1 | H27.2 | H27.3 | 件数 |
| 法人 (入所 GH 通所・くれ スケッチ) | サ等計画 | 16 | 6 | 3 | 14 | 8 | 18 | 3 | 3 | 0 | 4 | 2 | 6 | 83 |
| | サ計・モニ | 11 | 7 | 26 | 6 | 17 | 14 | 8 | 8 | 29 | 12 | 23 | 19 | 180 |
| | 児支計画 | 3 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 3 | 17 |
| | 児計・モニ | 0 | 3 | 3 | 1 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 4 | 28 |
| | | | | | | | | | | | | | 総件数 | 308 |
| | | H26.4 | H26.5 | H26.6 | H26.7 | H26.8 | H26.9 | H26.10 | H26.11 | H26.12 | H27.1 | H27.2 | H27.3 | 件数 |
| 法人 以外 | サ等計画 | 4 | 7 | 8 | 3 | 7 | 1 | 1 | 2 | 6 | 4 | 5 | 5 | 53 |
| | サ計・モニ | 10 | 15 | 10 | 12 | 4 | 7 | 8 | 10 | 8 | 10 | 5 | 9 | 108 |
| | 児支計画 | 5 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 21 |
| | 児計・モニ | 6 | 6 | 4 | 5 | 6 | 5 | 4 | 3 | 3 | 2 | 5 | 6 | 55 |
| | | | | | | | | | | | | | 総件数 | 237 |

2. 指定一般・特定・児童相談支援事業

鹿児島市在住の障害児（者）および保護者等からの相談支援、電話相談、訪問相談、関係機関との連携などを行ってきた。計画作成が主で、電話相談、訪問相談、同行相談、来所による相談等を実施している。内容としては計画作成依頼、福祉サービスの利用についての相談、本人の不安の解消、情緒安定に関する支援が多かった。

H26年4月～H27年3月までの計画相談の実績集計及び現状と課題については下記表の通りである。

指定特定相談支援・児童相談支援 利用者集計
(平成26年4月～平成27年3月)

| | | | | | | | |
|-------------------------|------|-----|---|--|------|----|---|
| 法人 | 計画相談 | 126 | 人 | 法人以外 | 計画相談 | 55 | 人 |
| | 児童相談 | 15 | 人 | | 児童相談 | 21 | 人 |
| 合計 | | 141 | 人 | 合計 | | 76 | 人 |
| ※総利用者数 (H26.4～H27.3) | | | | ※初回の計画請求まで至った利用者の総数。(その他、計画作成予定者等は含んでいない。) | | | |
| 全体 | 計画相談 | 181 | 人 | | | | |
| | 児童相談 | 36 | 人 | | | | |
| 合計 | | 217 | 人 | | | | |

【平成26年度 ぐればすの活動について～反省と課題～】

今年度の在宅支援サービス(居宅介護等)は、昨年度と同様に相談支援関連事業等(満園の出向後の人員配置、相談支援との兼務等)により、サービス提供可能な時間が減少傾向にある中で、目標とした月平均380時間弱程度の利用実績となった。今年度は年末から2月にかけて感染症等によるキャンセルが多かったことを含めて考えると、ある程度目標値に近い実績となった。年間のサービス件数・時間が前年度と比較すると、総件数では29件の減、総時間数では312時間の増となっており、1件当たりのサービス提供時間が長くなっている傾向がみられた。

スタッフの多くが、相談支援や学園業務等を兼務している状況があるため、業務を遂行する上で難しい面も多い。また昨年度同様、学園からのサポートスタッフの確保が難しい状況は続いている。サービス提供に伴う大きな事故等なく実施できたことは良かった。今後も利用者の安全を第一にサービスの提供にあたりたい。

相談支援の実施状況としては上記(実績集計)の通りである。計画及びモニタリング作成の月平均は約45件/月となっている。法人利用者が141名、全体数では217名となっている。さらに計画作成予定の方も数十名控えている状況である。

現状として5人の相談支援専門員がいるが其々兼務しているため、常勤換算すると1.7人で210名以上の計画相談を行っている。対象利用者数も増えており現体制では計画等の作成に関する事務的な業務に多くの時間を割かれて、個別な対応(利用者の声に耳を傾ける(訪問相談)、関係機関[事業]との連携(担当者会議の実施))が充分なされていない状態が続いている。次年度より、相談支援専門員(常勤兼務)の兼務条件(生活担当業務、各係等)を見直して体制を整えていく必要性を感じている。現状の兼務状況のままでは前述の課題の解決が困難な状況である。

次年度も在宅支援サービス及び相談支援の人材育成とサービスの質の向上を求めて安心・安全なサービス提供に努めていきたい。

平成 26 年度 ゆうかり保育園 事業報告

【全体所感】

今年度の新しい取り組みとして、年長組の後半に英語（外部講師）を取り入れ、外国語を身近なものとして楽しむ活動をした。次年度も継続したい。

2回目となったバザーはあいにくの雨となったが、日曜日に開催したことにより、店舗への職員配置ができ、園児も保護者とともに安心して楽しむことが出来ていた。さくら組の保護者による店舗（うどん）も出店し、フリーマーケットも開催された。じゃんけんマンやバルーンマン、ステージを設けての楽器演奏・ダンス等、各ブース共に好評だった。

相談事業（外部カウンセラー）は、利用者数が少なかったため今年度で終了となる。相談が少なかった背景には、日程の調整がつかないということもあったが、日々、保育士が保護者の気持ちや声に寄り添い、丁寧な対応が出来ていたことも要因の一つである。

2回目となる年長組の「お泊り保育」を、今年度は7月に実施した。大きな行事が無い時期だったため準備にじっくりと取り組み、当日はとても充実した時間となった。翌日子ども達全員が元気に帰宅し、保護者に嬉しそうに報告をするその姿に成長を感じた。

発表会では、写真に加えてビデオ撮影を業者に依頼した。注文する世帯が多くて需要を感じた。毎年インフルエンザ流行の時期にあたるので、出来る限りの予防に努めていく必要がある。

季節による蜂や蚊の発生への対策をとっているが保護者からの不安の声も上がった。近年、虫を媒介した感染など増えているため更なる対策を講じていきたい。

保護者からの要望により出口付近の歩道にミラーを設置。歩行者や運転者に保育園の出口であることを認識して貰えるようにした。保護者からの意見、協力を頂き、試行錯誤した1年となった。

【特色ある取り組み】

*スポーツ教室（月1回 3歳以上児）：レノヴァ鹿児島 小久保選手による指導

*食育（月1回のクッキング）

3歳以上児・クラスまたはグループで行う。

*環境（みつろうキャンドル作製など）

*読み聞かせ

子どもたちは回を重ねる毎に集中力が増して、座って話を聞くことが出来るようになり、話の内容を理解する力もついてきている。

*高齢者デイとの関わり

誕生会などさまざまな行事を一緒に行い、関わりを多く持つことでお互いの存在を感じあい、良い表情がたくさん見られている。今年度より、年長組が2～3名ずつ給食をデイで一緒に食べる取り組みを開始。話をしたり、躰を学んだりと有意義な時間を過ごしている。

*ゆうかり学園利用者との関わり

ゆうかり学園利用者に保育園にきて頂いて、保育補助をすることで園児や職員との交流を図った。また、保育園児と保護者が学園へ行く機会をつくり、学園との交流を行った。

*卒園児交流事業

【監査指摘事項】

7月15日 実施 文書指摘 3件 口頭指摘 5件

園児の状況（平成27年3月31日現在）

| 0歳児 | | 1歳児 | | 2歳児 | | 3歳児 | | 4歳児 | | 5歳児 | | 全体 | |
|------|---|-----|---|-------|---|-----|---|-----|---|-----|----|----|----|
| たんぽぽ | | いちご | | さくらんぼ | | うめ | | もも | | さくら | | | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 4 | 6 | 4 | 4 | 8 | 6 | 5 | 5 | 9 | 8 | 8 | 11 | 38 | 40 |

園児の状況（平成27年5月1日現在）

| 0歳児 | | 1歳児 | | 2歳児 | | 3歳児 | | 4歳児 | | 5歳児 | | 全体 | |
|------|---|-----|---|-------|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|----|
| たんぽぽ | | いちご | | さくらんぼ | | うめ | | もも | | さくら | | | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 3 | 0 | 7 | 9 | 4 | 6 | 12 | 9 | 6 | 7 | 9 | 8 | 41 | 39 |

行事の実施状況

| 月 | 日 | 行事内容 | 備考 |
|----|----|--------------------|--------------------|
| 4 | 1 | 入園式 | 新入園児及び保護者 |
| 4 | 29 | ゆうかり学園 ふれあい運動会参加 | さくら組園児及び保護者 |
| 5 | 10 | 親子遠足（平川動物園） | 親子参加 |
| 5 | 14 | 内科検診 | ゆあさこどもクリニック |
| 6 | 5 | 芋苗植え（ゆうかり学園） | さくら組園児 |
| 6 | 10 | みつろうキャンドル作り | 夏至の話 |
| 6 | 25 | 田植え | さくら組園児及び保護者 |
| 7 | 17 | ブルーベリー摘み・ | もも組園児 |
| 7 | 24 | ブルーベリー摘み | うめ組園児 |
| 7 | 31 | ブルーベリー摘み | さくら組園児 |
| 8 | 6 | 点字教室 | さくら組 |
| 8 | 7 | そうめん流し（園庭にて） | 上村副管理者による協力 |
| 8 | 9 | ゆうかり学園 夏祭り | （さくら組）参加希望者・保護者 |
| 8 | 22 | 1年生同窓会 | 1年生（昨年度卒園生） |
| 9 | 20 | 親子レクレーション（運動会）ふれスポ | 親子参加 |
| 9 | 24 | ゆうかり学園 敬老会 | さくら組 |
| 10 | 8 | 内科検診 | ゆあさこどもクリニック |
| 10 | 12 | ゆうかりバザール（バザー） | 全世帯・地域の方（保育園開放） |
| 10 | 18 | 稲刈り | さくら組園児及び保護者 |
| 10 | 22 | 秋の遠足 | 3歳以上児 考古歴史館 |
| 10 | 31 | 収穫祭 | 3歳以上児 |
| 11 | 3 | おはら祭り | さくら組園児及び職員 |
| 11 | 5 | 歯科検診 | みちよデンタルクリニック |
| 11 | 7 | 忍たま乱太郎ショー | 3歳以上児 文化ホール |
| 11 | 11 | 芋ほり | さくら組園児 |
| 11 | 15 | みかん狩り | さくら組 |
| 11 | 22 | みかん狩り | もも組 |
| 12 | 21 | 発表会 | 国際大学 |
| 1 | 8 | もちつき | 3歳以上児 |
| 2 | 21 | 保護者会 | 保護者 |
| 3 | 9 | お別れ遠足 | 水族館3歳以上児・ふれスポ1・2歳児 |
| 3 | 14 | 卒園式 | |

※毎月 スポーツ教室、読み聞かせ、英語（外部講師）

誕生会、食育、避難訓練、鹿児島市移動図書館（年間20回） 取り組みを実施。

職員の研修状況

| 期日 | 研修会 | 会場 | 講師 | 担当 |
|-----------|----------------|---------|-------|-------|
| 5月24日 | 全体研修会 | 自治会館 | 城戸久夫 | 水流・原口 |
| 6月5日 | 保護者支援研修会 | 市民文化ホール | 平原 博 | 坂中 |
| 6月28日 | 南ブロック研修 | 谷山北公民館 | 森木 | 原口 |
| | 南ブロック給食研修 | 谷山市民会館 | 町田 | 月精 |
| 6月25日～26日 | 健康と安全研修会 | 奄美の里 | 鹿大医学部 | 神之 |
| 7月3～4日 | 第1回エピソード研修 | 市民文化ホール | 鯨岡 峻 | 原口 |
| 7月12日 | 保育の質を高める研修会Ⅰ | 自治会館 | 井桁容子 | 上福元 |
| 7月23～25日 | 第1回九州保育三団体研究大会 | 香川 | | 松田 |
| 8月23日 | 南ブロック研修 | 国際大学 | タートル | 松元 |
| | 南ブロック給食研修 | 谷山市民会館 | | 月精 |
| 8月29日 | 保育の質を高める研修会Ⅱ | 市民文化ホール | 吉田ゆり | 岡田 |
| 9月5日 | 保育の質を高める研修会Ⅲ | 県青少年会館 | 河崎道夫 | 松元 |
| 9月22日 | 相談援助研修会 | 市民文化ホール | 大竹直子 | 山下 |
| 10月7日 | 中堅保育士研修会 | 市民文化ホール | 大河原美以 | 黒葛 |
| 10月25日 | 南ブロック研修・給食研修 | 国際大学 | 田中みゆき | 山下・月精 |
| 10月27日 | 園長・主任保育士研修会 | 市民文化ホール | 篠原敬一 | 水流・右田 |
| 11月7日 | 子育て支援事業特別講演 | 市民文化ホール | | 以上児職員 |
| 11月15日 | 食育研修会 | 県青少年会館 | 田中辰子 | 月精 |
| 1月24日 | 全体研修会 | 自治会館 | 増田まゆみ | 水流・原口 |
| 2月5日 | 保育の質を高める研修会Ⅳ | 市民文化ホール | 松本博雄 | 岩川 |
| 2月12～13日 | エピソード記述研修 | 市民文化ホール | 鯨岡 峻 | 原口 |
| 2月28日 | 南ブロック研修会 | 国際大学 | 高附恵子 | 松田 |
| | 南ブロック給食研修会 | 谷山市民会館 | 調理実習 | 月精 |

研修生受入状況

| 期間 | 学生氏名 | 所属 |
|-----------------|--------|-----------------|
| 5/12(月)～5/23(金) | 堀畑 遥香 | 神村学園 高等部3年生 |
| 6/2(月)～6/13(金) | 札元 恵梨香 | 鹿児島純心大学 |
| 8/18(火)～9/30(火) | 柏木 美紀 | 鹿児島キャリアデザイン専門学校 |
| 2/3(火)～2/17(火) | 紙屋 麻衣 | 鹿児島純心女子短期大学 |
| 2/3(火)～2/17(火) | 肝付 玲愛 | 鹿児島純心女子短期大学 |
| 2/9(月)～2/24(火) | 札元 恵梨香 | 鹿児島純心大学 |
| 2/16(月)～2/27(金) | 新留 爽生 | 鹿児島女子短期大学 |
| 2/16(月)～2/27(金) | 平松 里奈 | 鹿児島女子短期大学 |

○サマーボランティア(小・中・高校生 短大・専門学生)

7月23日～8月20日

延べ38名(1日当たり2名、1人につき1日まで) 登録人数 40名

○鹿児島実業 職場体験 11/11(火)～14(金)

○県立南高校 家庭科クラブ ボランティア 7/1(火)・12/2(火)

○谷山中学校 職場体験実習 2年生 4名 H27 1/20(火)～22(木)

平成26年度 そだち支援センター スケッチ 事業報告

1. 利用状況

| | |
|--------|---------|
| 開所日数 | 281 日 |
| 延べ利用者数 | 1,824 名 |
| 1日平均 | 6.5 名 |

平成26年度は、閉園に向けての動きに伴い1月から開所日が減ったため、利用平均が前年度と比べて下がっている。

2. 利用者の状況

平成26年度は、登録児童数は44名であり、ほぼ定員が埋まった状態で事業実施ができた。

3. 専門職指導と行事の状況

外部専門職員等による専門指導の実施状況と行事については以下の通りである。

※は行事を表している

| | | |
|----|---------------|-------------------------|
| 4月 | 9,22,24,28,30 | 個別発達相談 |
| | 11 | 音楽療法 |
| | 25 | 音楽療法 |
| 5月 | 9 | 音楽療法 |
| | 13・19・21・31 | 個別発達相談 |
| | 16 | ピアカウンセリング・療育技術指導(母親学習会) |
| | 23 | 音楽療法 |
| | 28 | 専門指導員指導(言語聴覚士) |
| | 30 | 専門指導員指導(教育) |
| 6月 | 5 | 専門指導員指導(作業療法士) |
| | 11・14・23・30 | 個別発達相談 |
| | 13 | 音楽療法 |
| | 25 | ピアカウンセリング・母親学習会 |
| | 26 | 専門指導員指導(臨床発達心理士) |
| | 27 | 音楽療法 |
| 7月 | 11 | 音楽療法 |
| | 25 | 音楽療法 |
| | 29 | 専門指導員指導(理学療法士) |

| | | |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 8月 | 5 | 個別発達相談 |
| | 8 | 音楽療法 |
| | 22 | 音楽療法 |
| | 28 | 専門指導員指導(言語聴覚士) |
| 9月 | 9・11・16 | 個別発達相談 |
| | 12 | 音楽療法 |
| | 26 | 音楽療法 |
| 10月 | 3 | 専門指導員指導(臨床発達心理士) |
| | 9・22 | 個別発達相談 |
| | 10 | 音楽療法 |
| | 23 | 専門指導員指導(作業療法士) |
| | 24 | 音楽療法 |
| 11月 | 1・6・13・15・19・21・27 | 個別発達相談 |
| | 8 | みかん狩り※ |
| | 14 | 音楽療法 |
| | 21 | 音楽療法 |
| | 26 | 専門指導員指導(理学療法士) |
| | 28 | 音楽療法 |
| 12月 | 1・15・20・22 | 個別発達相談 |
| | 3・19 | お母さん達のピアカウンセリング・母親学習会 |
| | 8 | 専門指導員指導(言語聴覚士) |
| | 12 | 音楽療法 |
| | 13 | 専門指導員指導(臨床発達心理士) |
| | 23 | クリスマス会※ |
| 1～3月 | 閉園の為、保護者面談や事業所同行を優先した | |

・平成26年度も専門職員指導実施の際は、保護者への対応だけでなく、職員への療育指導、助言と、職員研修と絡めて行っていただいた。また、子ども達一人一人に対する専門的な視点から、アドバイスをいただき、療育に反映できるよう検討し、実践した。

・行事については、前年度と同様、普段顔を合わせることがない保護者同士が交流できるように、11月にはミカン狩り、12月にはクリスマス会等と、行事や懇親会を企画し、実施した。また、保護者にむけた学習会も企画し、子ども達に接する際の正しい知識や技術を学ぶ機会も継続して行った。

4. 職員の研修状況

職員の療育技術向上のため、以下の様々な研修を実施、または講演会に参加した。

| 月 | 日 | 研修会名及びその内容 |
|----|-------|--|
| 4 | 1 | 今年度療育プログラム検討会議 (内部研修) |
| 5 | 16 | 職業倫理と個人情報保護について(内部研修) |
| | 28 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー松永 宏行氏(内部研修) |
| 6 | 3 | 就学後に利用出来る福祉サービスについて(内部研修) |
| | 6 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー田代 直子氏(内部研修) |
| 7 | 29 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー東條 夏也氏(内部研修) |
| 8 | 27 | 桜ヶ丘養護学校夏季研修「こどもの見立てと具体的な支援」 田邊貴仁氏(外部研修) |
| | 28 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー松永 宏行氏(内部研修) |
| 9 | 29 | 自立支援協議会主催「乳幼児期から始める支援を考える」 外岡資郎氏 |
| 10 | 3 | 「発達障害の子ども達への具体的な関わり方」 田邊貴仁氏(内部研修) |
| | 8 | 「早期の気づきと早期からの支援」 田邊貴仁氏(外部研修) |
| | 15 | 桜ヶ丘養護学校夏季研修「こどもの見立てと具体的な支援」 研修報告(内部研修) |
| | 23 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー田代 直子氏(内部研修) |
| | 4 | 「スケッチでの療育のあり方について」 畠中あや(内部研修) |
| 11 | 10 | 療育観察・「福祉制度について」「学齢期の子ども達の支援」 (外部研修) |
| | 19 | 桜ヶ丘養護学校夏季研修「こどもの見立てと具体的な支援」 研修報告(内部研修) |
| | 26 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー東條 夏也氏(内部研修) |
| 12 | 8 | 療育プログラム内容評価・検討会議 スーパーバイザー松永 宏行氏(内部研修) |
| 1 | 22 | 発達障害地域支援専門員養成講座 センター実習 |
| 2 | 14 | 「発達障害児・者への相談・面談」 高山恵子氏(外部研修) |
| 3 | 16~18 | 「発達アセスメント概論」「自閉症スペクトラムの支援」 田邊貴仁氏(外部研修) |

・職員研修については、外部研修は全ての職員が研修を受けられるよう計画し、その受けた内容を他の職員へ報告、発表していくスタイルで、皆で少しずつ学習していける体制を取ってきた。また、専門職の方々から実践出来る内容を助言いただく事で現場に活かす形を取ることが出来た。

・少しずつ保護者の方々とも協力体制がとれはじめ、また職員同士も信頼関係が築け、とても良いチーム体制が整い、療育に対するスキルも少しずつ身につけつつある所であったが、今回様々な事情が重なり、8年間の事業運営に幕を降ろすこととなった。

・在園されていた方々(年中児等)の受け入れ先については、全員意向通りに進み、それぞれの引き継ぎを完了させるところまで見届けることが出来た。最後に、スケッチを卒園された方々、在園されていた方々の幸せを強く願っている。

平成 26 年度 デイサービスセンターゆうかり 事業報告

1、平成 26 年度事業内容

通所介護事業については、8 件問合せ（施設見学）があったものの新規利用契約には至らなかった。未契約者の原因として、①宿泊(ショートステイ)希望 ②祝祭日の通所希望等のニーズに応えられないことがあげられる。また、③入所施設への変更というケースもあった。

既存の利用者に関しては登録利用者数 7 名でスタートし、家族やケアマネージャーからのご要望により利用回数の増加を頂いた。しかし、12 月頃より利用者の体調不良や家族の介護疲れによる施設入所が相次ぎ、現在は 3 名の利用となっている。

2、レクリエーション活動

レクリエーションは、利用者の状況、状態に応じ、希望を伺いながら実施した（外出、制作、園芸、子ども達とのふれ合い）。外出レクリエーションは、季節に応じて花見や買い物等、また、屋外への散歩も多く取り入れた。外出することで季節を感じて頂き、気分転換や社会参加、機能訓練にも繋がった。また、利用される利用者の介護度や体調、好みで参加されない利用者への配慮など、考慮すべき場面もあった。

3、保育園との関わり

これまで同様、普段の生活の中において、子ども達とデイサービス棟で、また、希望があれば保育園で過ごしてふれ合う等、お互いに日常的な関わりが持てている。また、園児の中には、気に入った利用者の膝上に座るなど、とても穏やかな雰囲気の中で過ごす場面も見受けられた。

毎月行われる誕生会には要望を反映して参加して頂き、子ども達と一緒に祝ったり、年の祝や敬老の日などはデイサービス棟でお祝いをして、とても喜んで頂いた。

その他、6 月頃より進級をして環境に馴染んできた年長児が、高齢者デイサービスで昼食を共にするようになっている。そのことでより親しみが増し、ふれ合う様子が見られている。（園児 2～3 名で来所）

4、研修等

外部研修は、近隣施設の連絡協議会や各種研修への参加を行ったが、現状のサービスに更に専門性が必要なものがあると考えている。研修で得た知識を周知して介護技術を向上し、サービスへの反映を目指す。また、レクリエーションの充実に向けた研修等も取り入れていきたい。

・利用状況

平成 26 年度の利用状況

| | |
|--------|-------|
| 開所日数 | 180日 |
| 延べ利用回数 | 366回 |
| 1日平均人数 | 2.03人 |

・利用者状況

| | 登録 人数 | 利用 回数 | 備考 |
|-----|----------|----------|-------------------------|
| 4月 | 7名 | 30回 | 〇〇様 3/20~5/10 (入院、短期入所) |
| 5月 | 7名 | 35回 | |
| 6月 | 7名 | 43回 | |
| 7月 | 7名 | 39回 | 〇〇様 7/3~8/20 入院 |
| 8月 | 7名 | 41回 | |
| 9月 | 7名 | 36回 | 〇〇様 9/4~ 入院 |
| 10月 | 7名 | 46回 | 〇〇様 10/27~ 入院 |
| 11月 | 6名 | 24回 | 〇〇様 11/11~ 施設入所 |
| 12月 | 6名 | 25回 | 〇〇様 入院 ・山下様 老健へ入所 |
| 1月 | 5名 | 13回 | 〇〇様 体調不良の為利用中止。 |
| 2月 | 3名 | 16回 | |
| 3月 | 3名 | 18回 | 3/5 〇〇様 永眠。 |

※4月現在 利用者数 3名 平均介護度：3.3 (前年度比：+0.6)

・前年度比

| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|--------|----------|----------|
| 開所日数 | 193日 | 180日 |
| 延べ利用回数 | 341回 | 366回 |